

平成 2 3 年度柏原市立歴史資料館等運営協議会

会 議 録

日 時 平成 2 3 年 5 月 1 8 日（水）

午後 2 時～ 4 時

場 所 柏原市立歴史資料館研修室

会議出席者

委員

木下百合子、塚口義信、綿貫友子、岸田 良、今西美和子、
奥田豊子、蓑原 正

事務局

岡本彰司生涯学習部長、宮本知幸生涯学習部次長兼文化財課長、
桑野一幸文化財課参事兼課長補佐、安村俊史文化財課主幹兼歴
史資料館館長

欠席委員

野口雅昭、仲矢明夫

記録：安村俊史

1. 開会

安村館長より開会あいさつ

委員の変更報告（吉崎隆夫委員から仲矢明夫委員へ）

事務局の変更（桑野文化財課課長補佐が文化財課参事兼課長補佐へ、安村歴史資料館主査が文化財課主幹兼歴史資料館館長へ）

2. 教育部長あいさつ

稲田教育長欠席のため、岡本生涯学習部長のあいさつ

3. 議事 【議長】塚口会長

① 平成 22 年度事業報告

（1）平成 22 年度事業報告・歴史資料館関係 安村

報告内容については、資料参照

（2）平成 22 年度事業報告・横穴管理運営関係 桑野

報告内容については、資料参照

【質疑】

○入館者数の減少について

委員：減少の原因は何か。

事務局：前年度と比較すると、冬季企画展の見学者が 2,000 名余り減少している。これは前年度のテーマが「おひなさん」であったことで市民の関心をひいた反動だと考える。また、大規模な団体見学者が少なかったことも原因と考えられるが、通常年度よりも少なかった原因はよくわからない。

委員：市内・市外の中学校・高等学校の利用状況はどうか。

事務局：市内の中学校で 1～2 校の利用があるのみで、市外の中学・高校の利用はまったくない。

委員：小学校の利用方法は。

事務局：秋季は 4 年生に解説・ビデオ上映・展示見学、そして付け替え現地の見学というコースで利用いただいている。冬季も 3 年生に解説・体験・展示見学というメニューで利用いただいている。

委員：減少したとはいえ、周辺の同規模資料館と比較すると、非常に多いと思う。周辺施設の入館者数等は把握しておいたほうがいいのではないか。

事務局：調査して把握しておきたい。

委員：NHK の番組でも博物館の問題が取り上げられていたが、そのようなさまざまな問題がある中で、当館の入館者数および活動は高く評価してもいいと思う。

委員：経済状況や平城遷都祭などの影響による減少も考えられるかもしれない。

委員：展示内容によって入館者数に変化はあるか。

事務局：当然ある。しかし、入館者を増やすことだけを目的とする企画展は避けたい。
あくまでも柏原市にとって意義のある企画展を実施していきたい。それが、当館の使命だと考えている。その意味において、入館者数にはあまりとらわれたくない。

○広報活動について

委員：市広報への掲載を増やすなど、広報面の充実を希望する。知らない市民が多すぎる。

委員：鳥坂寺跡の発掘調査現地説明会について、地元（高井田地区）に回覧板で案内があった。それによって関心をもつ人もあったので、地元の人たちへの広報方法についても検討してもらいたい。

② 平成 23 年度事業計画

（１）平成 23 年度事業計画・歴史資料館関係 安村

報告内容については、資料参照

（２）平成 23 年度事業計画・横穴管理運営関係 桑野

報告内容については、資料参照

【質疑】

なし

③ 施策評価結果について

・提言を中心に施策評価結果の説明 宮本

報告内容については、資料参照

【質疑】

○歴史資料館の体制について

委員：まず前提として、学芸員が不在になったという資料館の体制に大いに問題がある。
その理由は何か。

事務局：人事当局には学芸員の配置を繰り返し要望している。職員が無理ならば嘱託でもやむを得ないので学芸員を確保したいと考えている。

委員：さまざまな要望が施策評価として出されているが、評価委員は体制が整っていない現状がわかっているのか。まず、体制の充実を提言するべきではないか。

委員：今後、対外的な信頼関係、例えば資料の借用等に影響があるのではないか。

事務局：指定文化財や大規模博物館からの資料借用等には影響が出るかもしれない。

委員：対外的に信用がなくなるという現状を強く訴えてほしい。

委員：当館は大和川教育の拠点でもあるので、しっかりした体制を確保してもらいたい。

○施策評価結果について

委員：行政評価委員会の性格について説明してもらいたい。

事務局：市民公募によって設置された行政の実態を評価する委員会である。分科会に分

かれて各担当課の事業・施策を評価している。

委員：評価委員会の委員が、歴史資料館の実態や活動内容を十分に理解できていないのではないかと。評価委員会のあり方にも問題があるのではないかと。

委員：評価委員会のあり方を検討する委員会はあるのか。

事務局：ない。

委員：評価委員会への行政の関わり方も問題があるのではないかと。市民の視点という評価方法は間違っていないと思う。

事務局：市民の視点ということは重要だと思う。そのため、この運営協議会も市民委員を公募とし、3名に増員している。

委員：施策評価について、もっと明確に具体的に指摘してもらわなければ対応することもないのではないかと。評価に至る過程を明らかにし、具体的評価基準・具体的改善点を明示してもらわなければ、評価委員会の存在意義が問われるのではないかと。

事務局：指摘のとおりで、評価は「再構築」に近い「継続」というが、改善すべき点が明示されていない。

委員：入館者数が周辺館に比べてどれだけ多いかということも理解できていないのではないかと。魅力のある展示だから入館者が多いという評価が当然あるべきではないかと。

委員：「学芸員には一層魅力ある展示企画の開催をお願いします」という提言に基づいて、資料館の体制の充実、人員の要望をしてはどうか。

事務局：していきたい。

○入館料の徴収について

事務局：入館料の徴収について、協議会の委員の方々のご意見を伺いたい。

委員：入館料を無料にしている根拠は何か。

事務局：基本的には社会教育法の理念である社会教育施設の意義、ないし役割という点にある。博物館法でも入館料を徴収してはならないとある。ただし、当館は博物館法で規定される登録博物館ではないので博物館法の規制を受けるものではないが、理念に変わりはない。

委員：柏原市の社会教育施設はすべて無料か。

事務局：貸館を除いて基本的には無料である。

委員：無料であるべきだと考えるが、市の姿勢に関わることであるので慎重に検討をしてもらいたい。

委員：入館料を徴収したところで、わずかな収入にしかならず、そのための人員増などを考えると、意味がないのではないかと。それよりも、無料を続け、多くの市民に来館していただくほうがいいのではないかと。

事務局：文化財課としては当面は無料を継続するべきだと考えている。運営協議会の意見も当面は無料の継続ということでもいいかと。

委員：異議なし。

④ その他

○柏原市生涯学習総合推進計画策定委員会への参画について

事務局：柏原市生涯学習総合推進計画策定委員会を設置することになり、この運営協議会から委員として1名参画していただきたいので、審議していただきたい。

議長：人選は事務局に一任してもいいのではないかなと思うが、委員のみなさんのご意見は。

委員：異議なし。

事務局：それでは、市民代表ということで、奥田委員にお願いしたいと思うが、いかがか。

委員：異議なし。

事務局：それでは、運営協議会から奥田委員を推薦させていただく。

○柏原検定について

委員：以前に柏原歴史検定を計画しているという話があったと思うが、その後いかがか。

事務局：検定の前段階として、5月21日に開催される史跡高井田横穴公園の特別公開日に、少しレベルの高いクイズを計画しており、それを柏原検定の第一歩としたい。

○柏原市市民歴史クラブの活動について

委員：歴史資料館をベースに活動している市民歴史クラブの活動として、22年度に智識寺の展示を各所で行った。市から助成金をいただいてパンフレットもつくったので、委員の方々にも周知しておいていただきたい。(パンフレット配付)

4. 閉会

安村：長時間にわたり中身の濃い討議をしていただいたうえ、貴重なご提言を賜り、ありがとうございました。この場に限らず、何かご意見・ご提案等がありましたら、いつでもお聞かせいただきたいと思います。よろしく、お願いいたします。

(終了3時50分)